

# 糸東会だより

第2号：3月のイベント

ページ1・2

## 【各地区協議会（県連）ニュース】

関東地区協議会

令和6年度第1回組手交流試合  
及び審判講習会

ページ3・4

## 【糸東会ニュース】

2024年度糸東会シニア・ジュニア  
強化選手選考会

（北海道地区・西日本・東日本）

ページ5・6

## 【糸東会ニュース】

東日本組手審判講習会



## 関東地区協議会令和6年度第1回組手交流 試合及び審判講習会

令和6年3月2日（土）：糸東会本部道場

関東地区協議会主催の令和6年度第1回組手交流試合及び審判講習会が糸東会本部道場で行われた。参加者：審判員21名・選手71名  
昨年よりの空手競技規定の改正に伴い、今年度の大会は全て新ルールが適用されることを踏まえ、関東地区協議会、強化部と審判部の合同による組手交流試合及び審判講習会が行われた。開催にあたり樋川光司技術本部長よりご挨拶



挨拶を頂き、午前の部は、小学3・4年生までの選手と午後の部は、小学5・6年生と中学生までの選手による組手交流試合を行った。審判員の先生方は、長谷川克英審判部長による座学講義の後、組手交流試合の審判を実践形式で行った。選手の皆さんは、普段同じ道場生との練習試合が主になっていると思うが、関東地区より集まった選手との交流試合とあって、普段より練習をしている技や技術を思う存分発揮し良い経験になったと思います。また、審判の先生方にとってもこれから始まる全国大会に向けての予選大会など各地で行われる大会に向けて良い実技講習となった。



審判講習会及び組手交流試合風景写真

(開講式・午前の部・午後の部・座学講義・練習風景・閉講式)



## 2024年度糸東会シニア・ジュニア強化選手選考会 (北海道地区・西日本・東日本)

- ・北海道地区強化選手選考会  
令和6年3月2日（土）：きたえーる  
合格者：19名
  - ・西日本強化選手選考会  
令和6年3月3日（日）：東大阪大学敬愛高等学校  
合格者：86名
  - ・東日本強化選手選考会  
令和6年3月17日（日）：糸東会本部道場  
合格者：82名
- 合計：187名

※令和6年度糸東会シニア・ジュニア強化選手選考会が上記日程で各会場にて行われた。今年度の強化選手合格者につきましては、来月発行の会報誌No.284でご紹介を致します。



西日本選考会風景



西日本選考委員の先生方



西日本形選考会の様子



西日本組手選考会の様子



東日本選考委員の先生方



東日本形選考会参加選手



東日本組手選考会風景



東日本組手選考会合格者



場 所 「英心館南アルプス道場」山梨県南アルプス市

講 師 佐伯 進 ・ 長谷川 克英

委 員 橋本 淳 ・ 出雲 照夫

立会人 樋川 光司(技術本部副本部長)

参加者 審判員11名 選手28名

東日本組手審判講習会が、山梨県南アルプス市にある「英心館南アルプス道場」で行われた。開講式では、樋川技術副本部長より、「本日は、東日本組手審判講習会ですが新ルールになり審判の先生方は勿論ですが、参加して頂いた選手の皆さんも新しいルールを学ぶことも沢山あると思いますので、今日一日怪我の無いように頑張ってください。」とご挨拶を頂き講習会が始まった。佐伯講師による座学講義では、参加して頂いた選手の皆さんもルールを知らないと勝てる試合も勝てなくなってしまうのでしっかりと学んで欲しいとお言葉を頂き、「新ルールの主な改訂点」について、レジュメに沿って、

#### 1. ポイント関係

(事例：副審は、選手の技に集中しポイントを的確に判断する。技のポイントとなる上

段突き・蹴りのカテゴリー別の距離、異なるポイントの表示、1本の判定等)

#### 2. ウォーニング、ペナルティー関係

(事例：C1・C2の違反行為が一つにまとまった。誇張は、C1とセットで考える。装いは、技とセットで考え、度合いにより「注意」「反則注意」「反則」。過度の接触(C1)違反の場合で、「注意」とする場合は、いきなり「注意2」または「注意3」にステップアップすることはない。不活動の取扱い。「分かれて・続けて」等)

#### 3. 判定関係。

(事例：同点の場合で先取が無い時は、1本技・技ありを多く取った選手の勝ちになる。(優先順位は、1本技・技ありの順)判定は、副審4名で行い、同数の場合は、主審の判断で決定する)

#### 4. その他

(事例：監査の役割(監査は笛だけ携帯しルール違反等の時に笛を吹き主審に知らせる等)、VR(6秒間戻しその間の有効な技があったかを確認する。)、大会期間中の審判の心得(選手・監督・コーチとの会話は慎む)

などについて事例を交えながら分かりやすく審判目線、選手目線での講義をして頂いた。

実技講習では、主審の立ち位置は最も重要で、選手の動きを先読みした無駄の無い移動で、場外等の違反も見逃す事なき様にする事が大事である。また、10カウントが成立した場合の処理の仕方等を実技でも詳しく講義をして頂いた。最後に今年Aランクを受審する先生方の指導をして頂き、Aランクに入った先生は、如何にAランクを継続出来るように頑張る欲しいと激励のお言葉を頂き、審判・選手にとって実りある講習会となった。

※西日本組手審判講習会も下記日程で開催された。

日時：令和6年3月16日(土) 9:30~16:00

場所：城南学園高等学校 武道場 (大阪府大阪市)

講師：水流 清昭 ・ 佐伯 進



# 東日本組手審判講習会の様子



東日本組手審判講習会開講式



座学講義風景

実技講義風景



新規Aランク受審者向け講義風景

閉講式風景